



## 説明・REF・技法・ツール・事例の一覧

↓ 番号が緑色のものは、Note欄に詳細説明付き

大カテゴリー	内容	特記事項
フェーズ I	フェーズ・WBS・アクティビティの説明、リファレンス(業務参照モデル等の利用対象)、技法・ツール、アウトプットのレイアウト	構造化のための技法・ツール 全てにアウトプット事例付き
フェーズ II		
フェーズ III	⇒この種類や例は、C00-10-06を参照	
フェーズ IV		
フェーズ共通	メタモデル、4つのモデル定義、構造化、モデリング(ビジネスモデル、プロセス、ルール)、IT要求の引き出し 適用事例と選定WBS	プロセスモデリングとIT要求の引き出しはクラウドサービス化済み

  

フェーズ	説明・技法・ツール・リファレンス・事例	内容説明	
105 事業目標の確認と構造化	M105-000	説明(事業目標・戦略の構造化による業務改革モデル定義)	事業目標と事業戦略から業務改革モデルを定義するステップを説明。事業目標を確認して階層レベル2まで構造化し、事業戦略を確認して階層レベル2まで構造化し、両者の整合性を確認して、業務改革モデルとする。
	M105-011	OUT(事業環境情報シート)	事業環境(マクロ環境、ミクロ環境、内部環境)に関する情報の整理を一覧にしたもの。この中から必要な情報を収集する。「事業機軸と事業構造の把握」において既に収集した情報もある。
	M105-202	事例(事業目標の構造化)	事業目標をSCORの観点から構造化し、さらにそれをSCOR外リソースのレベル1～3、およびパフォーマンスドライバー(先行指標)と対応つけた例。
	M105-301	事例(サブライゼン目標の設定例)	サブライゼン目標を数値的なSCOR外リソース(レベル1～3)に再設定し、それを金額的に換算し、置いた例。
	M105-302	ツール(SCORメトリクス調査シート)	信頼性、応答性、柔軟性、コスト効率、資産効率の観点からSCOR外リソース(レベル1～3)の現状を調査するためのシート。
106 事業戦略の確認と構造化による業務要求の抽出	M106-001	説明(事業戦略の確認、戦略課題・業務要求への構造化)	市場環境分析、SWOT分析、戦略課題と経営機軸別業務要求の抽出など、事業戦略の構造化のための一連のステップを説明。
	M106-002	事例(市場環境分析図)	市場環境分析図の例。
	M106-203	事例(SWOT分析図)	SWOT分析によって、A～Fまでの6つの事業戦略を抽出した例。各々の戦略は戦略パターンに沿っている。
	M106-204	事例(クロスSWOT分析図)	クロスSWOT分析図の例。
	M106-401	OUT(戦略課題分解シート)	事業戦略を戦略マップを使って、顧客の視点、プロセスと学習と成長の視点にマッピング。各々の戦略をQCTSの観点から戦略課題(レベル1)に分解するためのシート。
M106-402	技法(事業戦略の戦略課題への分解)	確認した事業戦略を戦略マップにマッピング、これをQCTSやプロセス・組織・情報・プログラムの観点から戦略課題(レベル1)に分解する技法を説明。	
M106-403	事例(事業戦略の構造化(戦略課題))	事業戦略の戦略課題への構造化に関する2つの事例。	

All Rights Reserved, Copyright© process-design-engineering, Inc

1

GUTSY-4のWBSのメカニズム(説明・REF・技法・ツール・事例)を一覧にして、自習できるようにしたもの。リンクをクリックすると、該当コンテンツが表示される。PowerPointの場合、番号が緑色だと、Noteに詳細説明があります。

上記例だと、【105】事業目標の確認と構造化 において、  
 M105-000 説明(事業目標・戦略の構造化による業務改革モデル定義)  
 M105-011 OUT(事業環境情報シート)  
 M105-202 事例(事業目標の構造化)  
 M105-302 ツール(SCORメトリクス調査シート)  
 のメカニズムを利用しているが、これらを右半分の2～3行で説明しています。

また、【106】事業戦略の確認と構造化による業務要求の抽出 において、  
 M106-402 技法(事業戦略の戦略課題への分解)  
 のメカニズムを利用しているが、これを右半分の2～3行で説明しています。